

高P-74



有料OS VS 無料OS

■ はじめに

当初僕はプログラミングに興味があり、プログラミングについて調べていたが、その時にOS (Operation System)もプログラミングによって作られていることを知り、興味を持った。また、無料のOSもあるということがわかったので、市販のものとはどのように違うのだろうかと思い、このテーマに決定した。

■ 研究内容

今回使用したOSは某M社製のOSと、LINUX (FEDORA)と呼ばれるOSだ。LINUXが無料のOSに当たる。LINUXは企業が作っているOSではなく、多くのユーザー達が共同で開発しているものである。

～COMPIZについて～

僕はまずはじめにCOMPIZと呼ばれる機能に目をつけた。COMPIZとはX Window System上で動作するウィンドウマネージャである。右の図をみてほしい。デスクトップ画面が3Dになっていることが分かる。これは、デスクトップ画面が複数存在し、それらを自由に切り替えることができる機能である。この機能によって、狭い画面をより有効的に使うことができる。この機能は、M社製OSには備わっていない機能である。また、ウィンドウを最小化したり、最大化するときには、動きを演出してくれる。この演出は、視覚的に退屈させないため、体感速度が速くなる。

～基本的機能～

パソコンに必要とされる基本的な機能として、インターネットの閲覧、文書作成、画像動画閲覧が挙げられる。LINUXは有料OSと同じように、すべて満足に行える。

■ まとめ・今後の予定

OSとは、そもそもパソコンを構成する枠組みであって、

完全なものではないから、LINUXであろうと、M社製OSであっても、ユーザーがソフトウェアを新しくインストールすることで、どのような作業も満足に行える(もちろん構成するパーツのスペックが同じならばだが)。M社製OSは大きいシェアを獲得しているため、それようにソフトウェアがつけられることも多く、互換性は高い。LINUXは、M社製OSに比べ、3D描写等の高度な技術に強い。UNIXというスーパーコンピュータを制御しているOSを基本にしてつくられたためだと思われる。

今後の予定についてだが、そろそろLINUXとM社製OSのメリット・デメリットがわかってきたため、COMPIZの機能の分類や使い分け、また、その他LINUX特有の機能について調べ、実際に使ってみてみたいと思った。



代表発表者 **渡辺 健太 (わたなべ けんた)**
所 属 茨城県立日立第一高等学校 二年次
問合せ先 〒317-0063 茨城県日立市若葉町 3-15-1
TEL: 0294-22-6488, FAX: 0294-21-4490
hakua@hitachi1-h.ed.jp

■ キーワード: (1) OS
(2) Linux
(3) 無料